

ライオンパワー株式会社

石川県小松市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

新たな分野として医療用機器分野にも進出。研究開発型企业へと転身し、新たなビジネスモデルも構築

- 新たな分野として医療用機器分野にも進出。研究開発型企业へと転身し、新たなビジネスモデルも構築
- 社内人材育成において自ら課題を設定し、考え、解決できる社員の教育を実践
- 海外展開については、同社内での経験の蓄積が重要との思いから、トライアンドエラーを繰り返し実施

企業基本情報

| | |
|--------|-----------------------------|
| 所在地 | 石川県小松市月津町5番地 |
| 電話/FAX | 0761-44-5411/0761-44-8080 |
| URL | http://www.lionpower.co.jp/ |
| 代表者 | 代表取締役社長 高瀬 敬士朗 |
| 設立 | 1973年 |
| 資本金 | 4,156万円 |
| 従業員数 | 116人 |



会社概要

同社は、会長（社長の父）が、1971年に織機の糸の切断を監視する検査装置製造を生業として創業。1973年設立当時は下請企業として出発。現在は、制御盤、医療機器、プリント基板等の設計製造を主たる事業とする。大企業が狙わない（大手ではコストが合わない）ニッチな分野の製品開発を得意とする研究開発型企业。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

医療機器分野への進出や、研究開発型企业への転身による新たなビジネスモデルを構築

下請から出発した同社は、ニッチな市場分野で同社製品を手掛け、現在では、医療用機器分野にも進出。さらに、研究開発型企业へと転身し、IoTもいち早く同社製品に取り込む。

同社製品の制御盤用電線加工機はクラウドと繋ぐことで、顧客が1本の電線を加工するたびに、使用対価を徴収する方式に転換。これにより同加工機の販売価格の大幅な低減を実現しており、従来は大手企業しかできなかったイニシャルを抑えて、ランニングで儲けるビジネスモデルを中小企業で実現する（2017年4月からスタート）。



Semi-Auto Wire Processor
HI-1100 System

社内人材育成において自ら課題を設定し、考え、解決できる社員の教育を実践

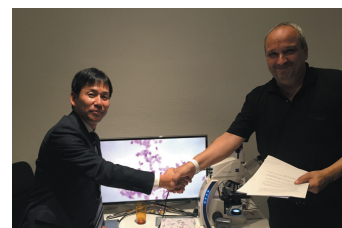
社長は家業を継ぐまで、Jリーグの湘南ベルマーレでコーチを務めており、人材育成の手腕は高く評価されていた。現在も、サッカークラブチーム「LionPower小松」の代表・監督を務め、小松市を拠点にJリーグ入りを目指している。こうした経験を活かし、人材育成においても自ら課題を設定し、考え、解決できる社員の教育を実践。各部署の新技术や生産性改善などの取組を発表し、全従業員の投票で優勝を決める。発表には「笑い」も求め、半分遊びで楽しむことで、継続的な技術力向上に繋げている。



新技术や生産性改善取組発表

海外展開は、経験の蓄積が重要。失敗を恐れず、トライアンドエラーを繰り返す

5年前から海外展開（輸出）に取り組んでいる。スイス、ドイツ、マレーシア、台湾に展開しており、同社の3人（社長+社員2名）が担当。輸出の仕方に関して当初は全く分からなかったが、ドイツでの展示会（ジェトロパビリオン）での商談が成約に至り、手頃な金額の引き合いだったので、自分たちで経験することが重要であると確信。失敗しても良いと、自分たち3人でいちから勉強して輸出にこぎつけた。これまでに、数多くの失敗をしているが、それを踏まえて改善している。



初めての海外輸出契約